

● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2017年12月29日付)

基準価額	13,666円
純資産総額	496百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

●当ファンドは、2017/12/18に第3期の決算を迎えました。分配金は0円とさせていただきます。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2017年12月29日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.34%	10.03%	14.69%	24.30%	38.38%	36.66%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	92.0%	0.5%
静岡銀行株式	8.0%	▲0.1%
現金等・その他	0.1%	▲0.3%
構成銘柄	31社	0社

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎12月のファンド月間リターンとその要因

12月のファンドの月間リターンは、2.34%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「コマツ(+17.18%)」、「日揮(+11.69%)」、「三菱商事(+10.66%)」となりました。コマツは、中国やインドネシアを中心とした需要好調や米・画像用半導体大手エヌビディアとの協業などが好感されました。日揮は、インドネシアでのガス処理プロジェクトの受注獲得が注目されたほか、原油価格上昇で今後のプラント建設市場の好転が期待されました。三菱商事は、原油価格の上昇や国際商品の総合的な値動きを示すCRB指数の上昇を受けて、収益拡大期待が高まりました。

下位3銘柄は、「楽天(▲10.02%)」、「日東電工(▲9.25%)」、「堀場製作所(▲3.00%)」となりました。楽天は、携帯キャリア事業への新規参入を発表、大がかりな設備投資が必要になってくるため、今後の財務体質悪化が懸念されました。日東電工は、メディアでiPhoneXの販売下方修正報道があったことで、スマホの営業利益依存度が高いと見られる同社に悪材料となりました。堀場製作所は、半導体需給の軟化が懸念されるなか、半導体製造装置向けの利益依存度の高い会社としてネガティブ視されました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は5.05%の上昇でした。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

◎運用責任者メッセージ

12月の内外金融市場は、地政学的なリスクが懸念される局面もありましたが、米国の税制改革法案の大筋合意などを受けて、世界的な株高となりました。2017年は、「7のつく年は、荒れる」との経験則を払拭する世界的な株高の一年でした。年初来の騰落率を地域別にみると、米国NYダウ+25.1%、英国FTSE+7.6%、ドイツDAX+12.5%、香港ハンセン+36.0%、中国上海+6.6%、インドSENSEX+27.9%、豪州ASX+7.0%、日経平均株価+19.1%となりました。世界的な政治の混迷とは対照的に世界経済が市場予想を上回る回復を見せたことが背景だったと考えています。

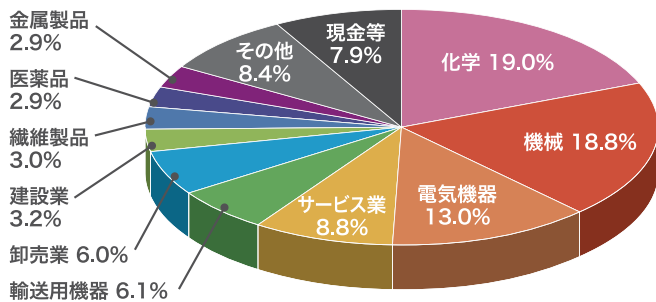
2018年も世界の株式市場は昨年からのトレンドを維持して好調なスタートとなっています。今年の世界の経済見通しが良好であることを反映していますが、国内企業業績も2018年度は、10%程度の増益が予想されています。短期的な調整はあると思いますが、企業業績からは大きな調整局面は想定が難しいと思っています。昨年、コモンズ30ファンド組入銘柄の中では、30銘柄中16銘柄が上場来高値を更新しました。長期投資を実践している中でこのような現象は日本企業がグローバル経済の拡大を享受できる体質になってきたと考えています。

どうぞ、本年もコモンズ30+しずぎんファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

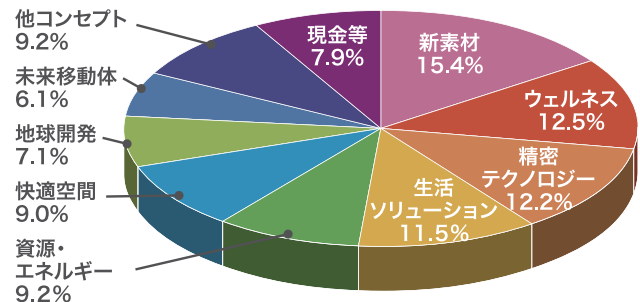
◎業種別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

◎未来コンセプト別構成比

(2017年12月29日付)



● 組入上位10銘柄（静岡銀行株式を除く）

(2017年12月29日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.7%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.6%
6902	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける	3.5%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.5%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.5%
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.4%
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.3%
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする	3.2%
1963	日揮	資源・エネルギー	アジア・アフリカの未来を創る国境なき技術団	3.2%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.2%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ！

12月はコマツの株価が17.18%と大幅に上昇しました。中国のインフラ工事向けやインドネシアの鉱山向けを中心に需要が好調なことや、米・画像用半導体大手エヌビディアとの建設現場における人工知能導入に向けた協業などが好感されました。

同社は、12月初旬にESG説明会を開催しました。“E（環境）”では、製品の燃費性能向上やコムトラックス（コマツの機械稼働管理システム）による低燃費運転の提案、“S（社会）”では、対人地雷処理を通じた社会貢献、“G（企業統治）”では、取締役会の実効性を高める（取締役総数に占める社外取締役数のウェイト上昇など）こと、などに取り組んでいます。同社は、ESGに対して積極的な企業であり、中期経営計画（2016～2018年度）のなかでも、社会からの要請に応える活動に対してコマツウエイ（コマツの価値観）をベースにして、E/S/Gの各分野でさらに強化推進していくことを掲げています。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● こどもトラスト

【お金とのつきあい方 考え方】

「moretreesを応援したい。なぜなら、わたしは自然保護のような持続可能な社会を目指す活動に寄付をしたいから」「わたしは日本クリニックラウン協会に寄付したい。活動の対象となっているのは闘病中のこどもたち。3団体の中でわたしたちの年齢に近く、自分たちらしい寄付先なのでは。」「ぼくは日本補助犬情報センターを選びたい。啓発行動こそ、社会に変化をもたらすと考えるから。」

これは12月に東京学芸大学附属国際中等教育学校にて「寄付の教室」を開催した際に、参加してくれた高校3年生の間で飛び交った意見です。

同教室では3つの社会課題に取り組む団体を紹介し、自分ならどの寄付先を選びたいか、その理由と共に意見を交換し合い、時間内にみんなでひとつの寄付先に絞り込むというワークショップを実施しました。

しかし、この日限られた時間でひとつの団体に絞り込むことはできませんでした。それぞれの価値観をぶつけ合ってみたものの、ひとつに絞り込むための、全員が納得する「寄付の基準」を定めるまでには辿り着かなかったのです。

普段、小学生などもう少し小さなこどもたちを対象に寄付の教室を開催することが多いので、彼らのディベートには感銘を受けました。自分たちが解決したいのは「今の問題」なのか、「未来の問題」なのか。自分の価値観を相手に理解してもらうために率直にぶつける、ひとつの答えを導き出すために相手の考えにも向き合う、そんな力をもった彼らに、未来の社会の担い手としての頼もしさを感じました。

寄付月間であったこの12月には、東京・沖縄・岡山で寄付の教室を開催しました。こどもトラストセミナー「寄付の教室」では寄付について学んでもらう前に、必ず、「お金とはなんだろう?」ということも一緒に考えてもらっています。毎日目にしたり手にしたりする「お金」のことを、ここ日本では改めて学ぶということが少ないまま大人になってしまいます。

「人のためにきふする、と言ったりしてたりしていたけど、深く考えれば自分のためだと思った」これは岡山で寄付の教室を開催した直後に小学校3年生の男の子がくれた感想。

自分が欲しい未来に向かって、どんな価値観をもってお金と付き合っていくか。自分の意志をもってお金と付き合うことの大切さをこどもたちと共有していくのが、わたしたちの「寄付の教室」です。

*東京開催の様子はこちらをご覧ください。

https://park.common30.jp/2017/12/blog-post_14.html



東京学芸大学附属国際中等教育学校



岡山開催



東京開催

こどもトラスト担当 馬越 裕子

● ちょっといい話

【2018年スタート】

明けましておめでとうございます！

私にとって年始の嬉しいことの一つに、お客さまからの沢山の年賀状やSNSを通じて、お一人お一人の年始の豊富や希望などをシェアいただけることがあります。当社に届く年賀状の特徴は、家族での年賀状が多いことです。「積み立て投信を継続していた娘が成人を迎えます」、「社会人になった息子にコモンズ投信を勧めました」などのメッセージと共にご家族の楽しい雰囲気の写真も添えられていたり。また、今年は、景気や株価の回復もあってか「今年こそ、積み立て投資を始めます！」と宣言された年賀状も例年になく多かったです(笑)。

こうした年賀状を読むのがコモンズ投信の仕事始めです。背筋が伸びる瞬間であり、今年も頑張ろう！と年始にエネルギーを注入してもらっています。改めて感謝申し上げます。

さて、2018年の大発会は、日経平均株価で23,506円(+741.39円)と大幅高となり、幸先のよいスタートとなりました。十二支から占う株式相場の格言では、『辰巳(たつみ)天井、午(うま)尻下がり、未(ひつじ)辛抱、申酉(さるとり)騒ぐ、戌(いぬ)は笑い、亥(い)固まる、子(ね)は繁栄、丑(うし)はつまずき、寅(とら)千里を走り、卯(うさぎ)は跳ねる。』となっています。昨年は、「申酉騒ぐ」で、米国トランプ大統領に象徴されるような世界的な政治の混迷、北朝鮮などの地政学的リスクでまさに騒ぐことが多かった一年でした。今年は、「戌は笑い」との格言からは相場は順調に高値を狙うかもしれませんし、干支の順番からは「子は繁栄」までは相場が良い見通しになっています。

つまり2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでは強気相場というわけです。

もちろん、不確実な時代に簡単に強気にはなれないと思いますが、コモンズ30+しずぎんファンドは皆さまの長期的な資産形成にお役にたてるように、日々の地道な調査活動をベースに株価に一喜一憂することなくしっかりとした運用を続けて参ります。

本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 （信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>